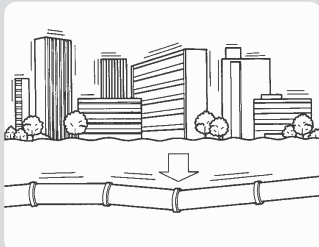
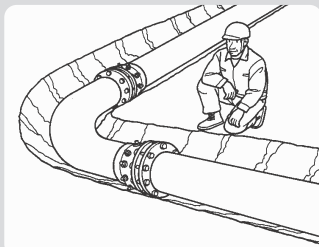
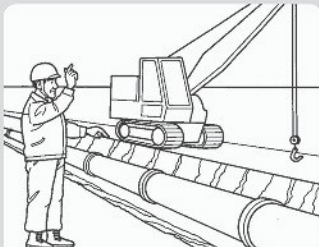
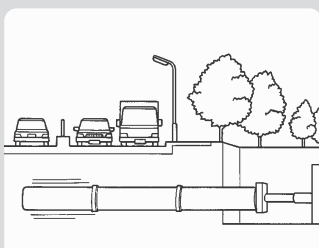
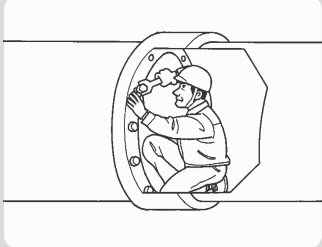
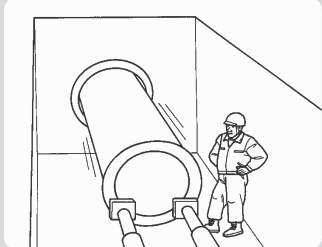
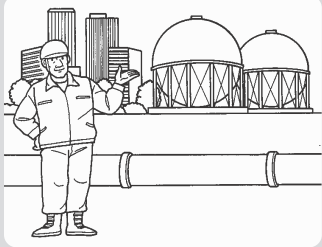


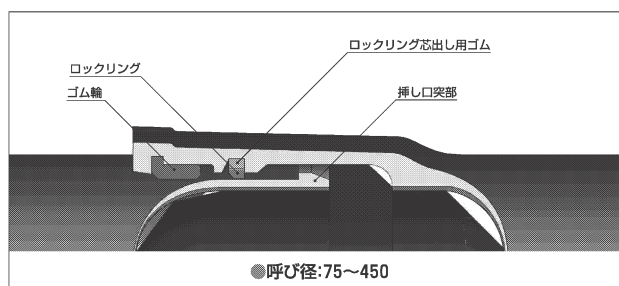
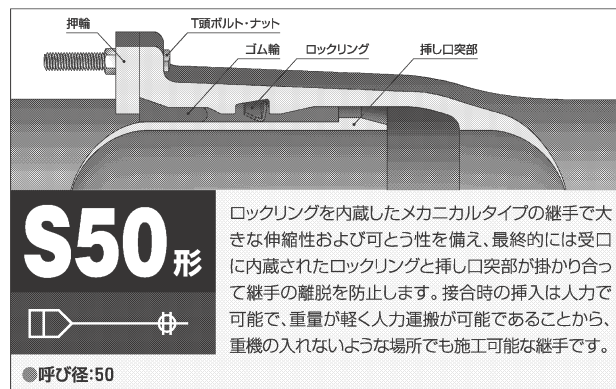
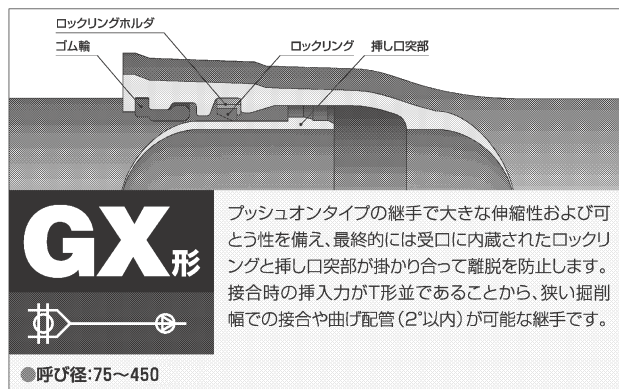
継手タイプおよび機能別用途一覧

用途・目的	接合形式	呼び径 (mm)	特 長
耐地盤変動用 軟弱地盤における構造物との取合い部など、将来不同沈下が生じると予想される場所、地震によって著しく地盤変動が生じる場所に使用します。	GX形	75~1000	地震多発地帯・極軟弱地盤箇所など、特に耐震性が要求される管路での配管に適しています。 
	S50形	50	
	NS形	75~1000	
	S形	1100~2600	
	US形	800~2600	
離脱防止用 異形管部は水圧によって管を動かそうとする力が働きますが、この力を止めるのに使用します。	UF形	800~2600	管路の曲管部など大きな拔出力が作用する場所に適用しています。 
一般管路用 開削工法における一般管路（高水圧管路を含む）に使用します。	K形	75~2600	一般管路のほか、高水圧大口径にも適しています。 
	T形	75~2000	
	U形	800~2600	
	ALW形	300~1500	
推進工法用 鉄道下、幹線道路下、河川下など、開削工法のできない場所に使用します。	T形	250~700	河川や軌道、あるいは幹線道路下の横断・縦断配管など、オープンカットができない場合の配管に適しています。 
	U形	800~2600	
	US形	800~2600	

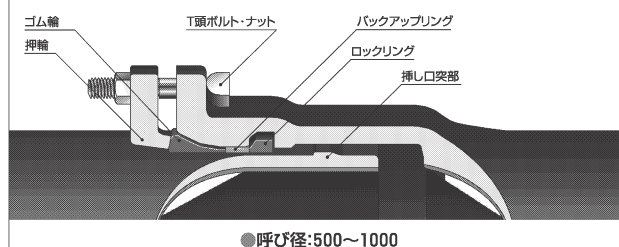
各継手の接合につきましては、日本ダクトイル鉄管協会発行「接合要領書」を必ずお読みください。

用途・目的	接合形式	呼び径 (mm)	特 長
シールド工法用 狭隘部配管用 長距離にわたって開削工法ができない場合は、前もってすい道をつくってその中に管を布設します。他の埋設物などがあり、管内からしか接合作業ができない場合に使用します。	U形 US形	800～2600 800～2600	シールドと管との隙間を少なくできます。隙間にエアモルタルなどを充填すれば管の浮上りの防止が不要となります。 
パイプインパイプ工法用 長距離にわたって開削工法ができない場合、既設管路に発進坑・到達坑の立坑を設け既設管の中に新管を挿入し、開削することなく経年管を新管に更新します。	PN形	300～1500	●直線管路の更新に適用します。 ●配管前に既設管路の調査が必要です。 ●配管作業は立坑内で行うため安全に作業ができます。 
ガス配管用 ガス配管用	GMIⅡ型	100～300	●ガス管路専用の管です。 ●継手はある程度の可とう性、伸縮性を持ち、地盤の動きに対応できます。 ●せめ配管には特殊押輪が必要です。 
その他 主としてポンプ場まわりやバルブの取付用として、バルブ前後の管に使用します。	フランジ形 RF形 フランジ形 GF形	75～2600 75～2600	●主にポンプ、バルブまわりに使用します。 ●高圧管路ではGF形とRF形の組み合わせで使用します。 ●温度差による管路の伸縮及び不同沈下が予想される場合は伸縮継手の併用が必要です。 

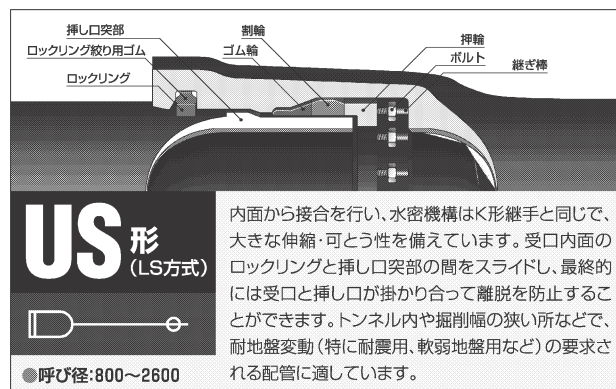
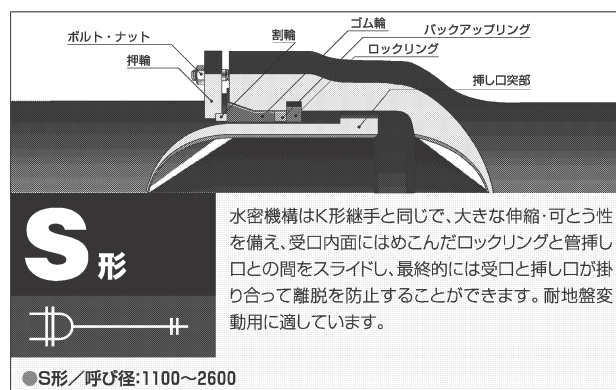
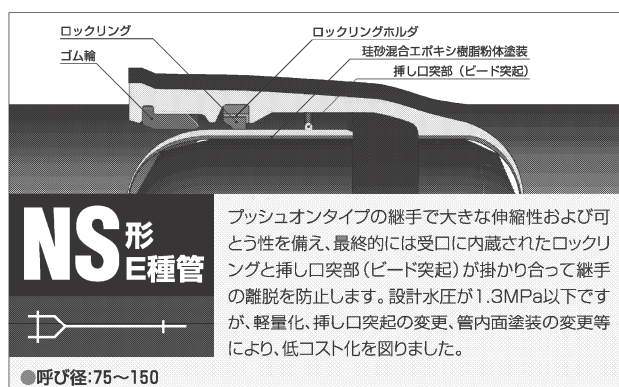
継手構造

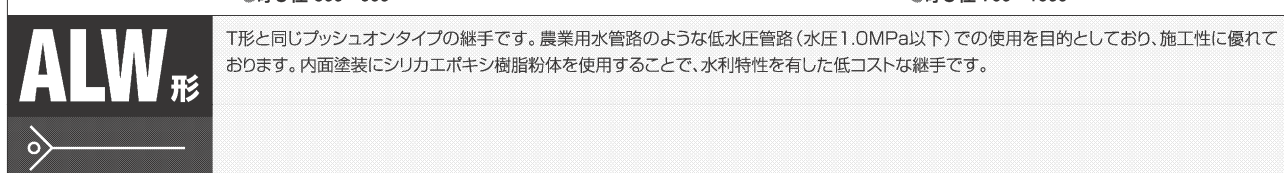
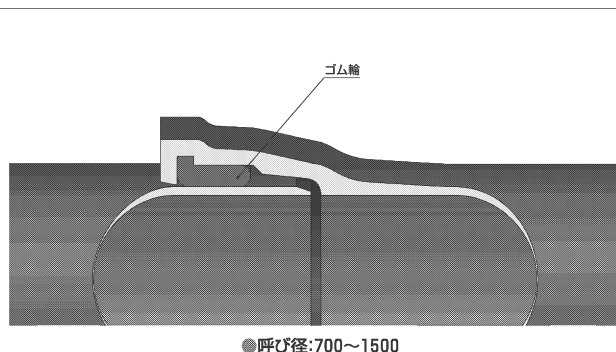
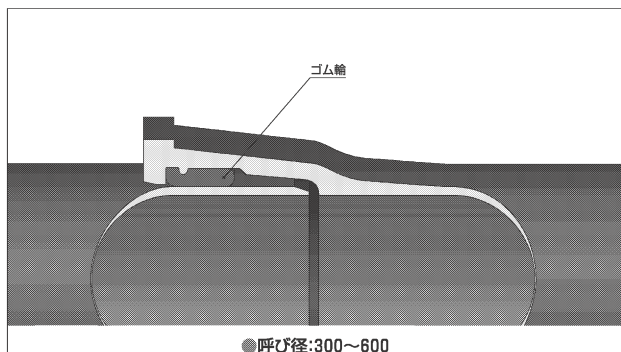
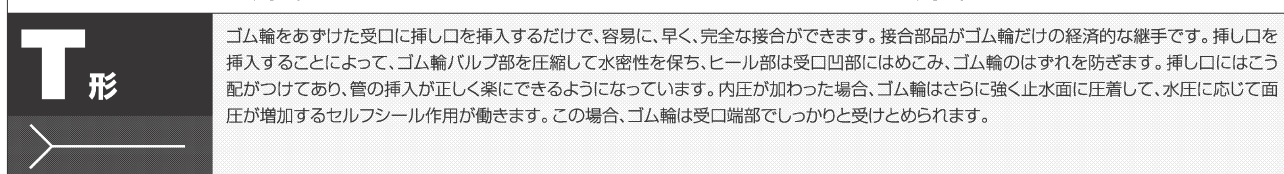
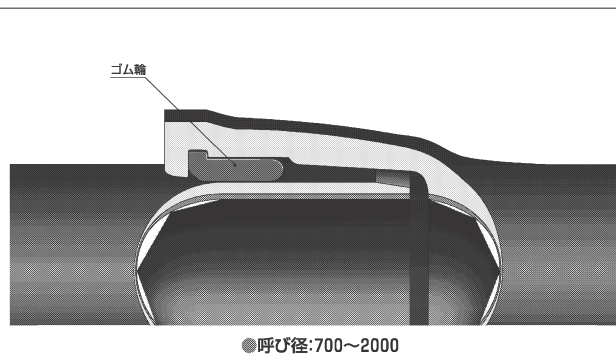
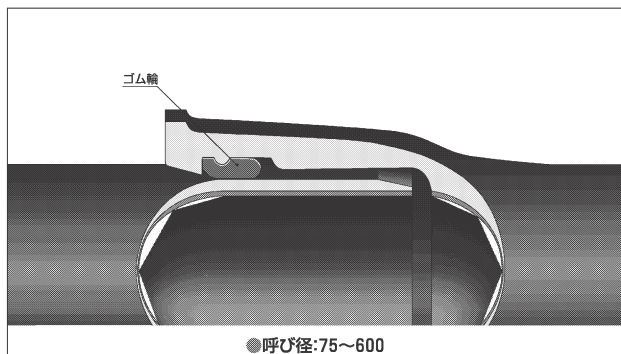
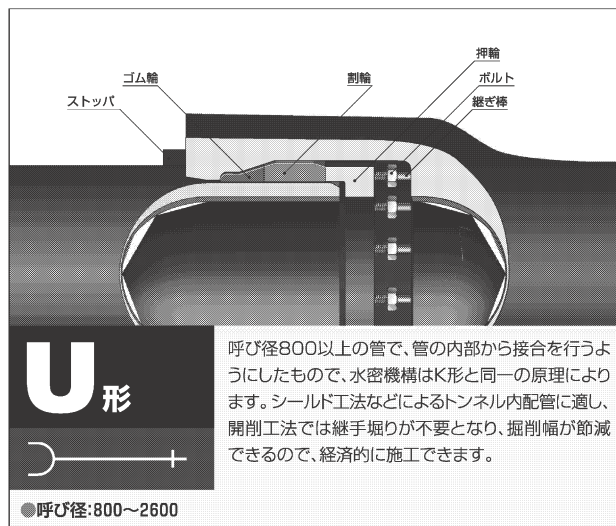
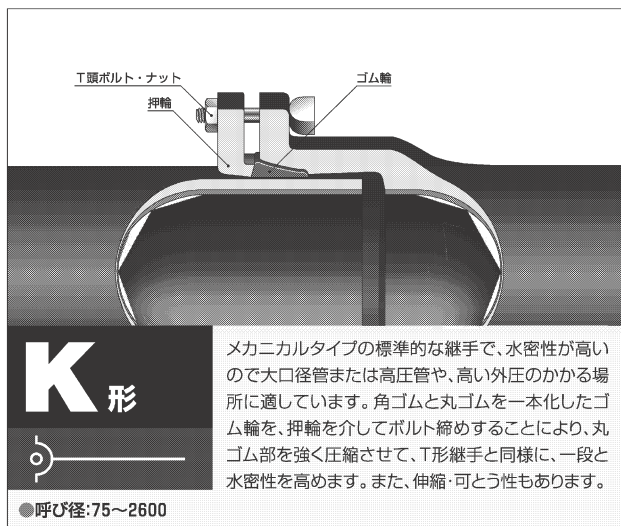


プッシュオンタイプの継手で大きな伸縮性および可とう性を備え、最終的には受口と挿し口が掛かり合って離脱を防止します。施工性を考慮した耐地盤変動継手です。



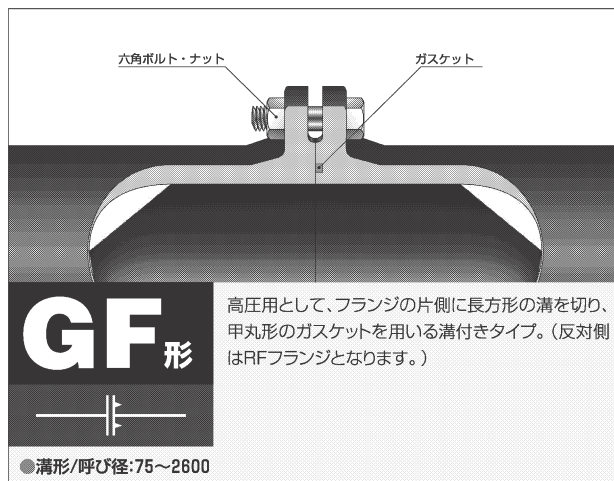
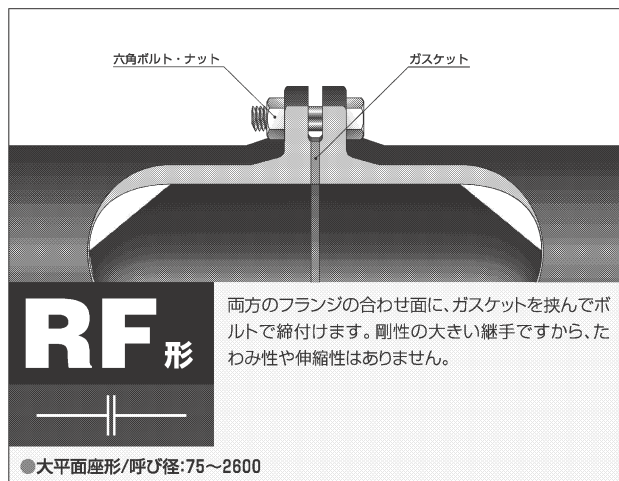
メカニカルタイプの継手で大きな伸縮性および可とう性を備えます。S形に比べ施工性に優れ、さらに1種類の継手で管路を構築でき、管路設計および施工管理を容易としました。



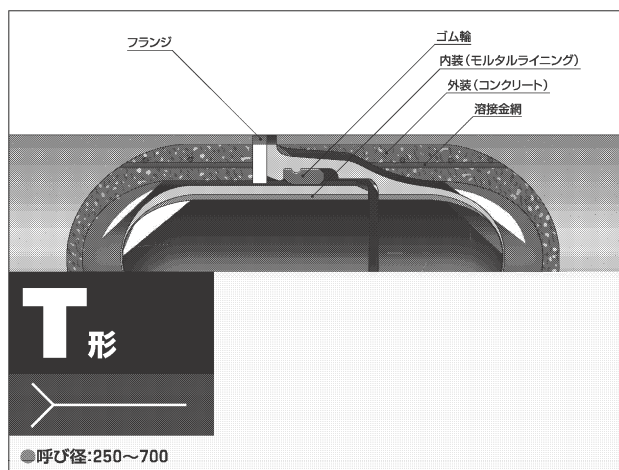
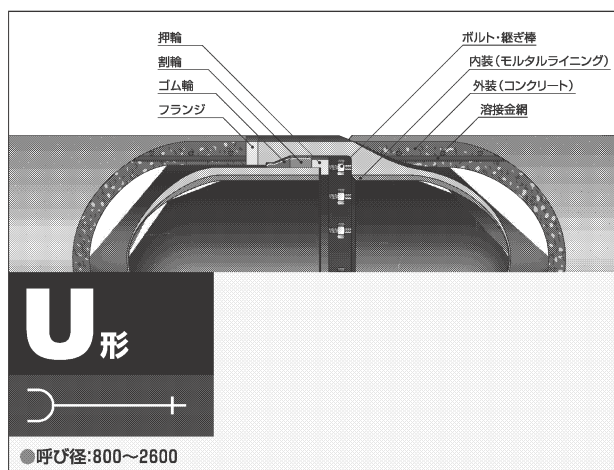
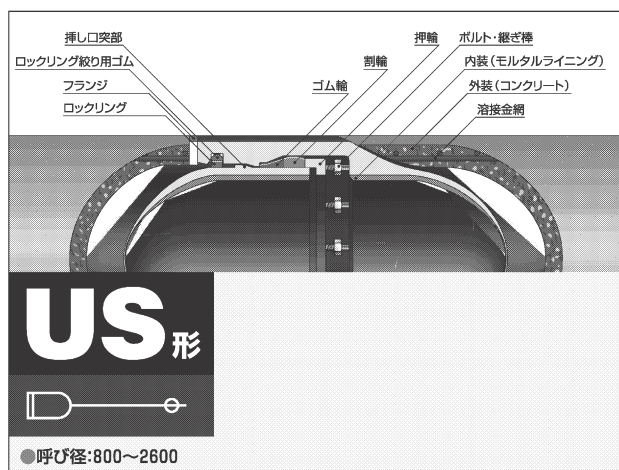


継手構造

フランジ形



推進工法用

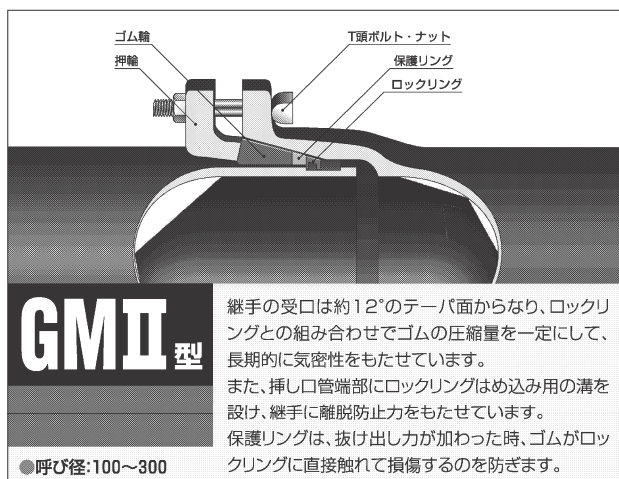


US形、U形、T形管の外面に鉄筋コンクリートを巻きたてて、継手部と管体部の外径を均一、平滑にし、挿し口外周に溶接したフランジを介して受口端面と突き合わせて推力の伝達を行います。

パイプ・イン・パイプ工法用



ガス用



DUCTILE Check!

【継手の名称とその意味】

ダクタイル鉄管の継手には、ほぼアルファベットの名称がついています。これらは接合形式をあらわすもので、継手の機能や特長を示しています。

GX	次世代を意味するGENERATION NEXTのGとXをとってGX形とした。 新しい継手構造により、NS形よりも大幅に施工性を向上させた。
S50	ダクタイル鉄管初となる耐震性能を備えた呼び径50の継手。
S	Seismal（英語：地震の～）をあらわすS。継手部が大きな伸縮性、可とう性・離脱防止機構を備え、すぐれた耐震性を発揮。
NS	New S（＝新しいS形）という意味。 S形と同等の耐震性能を持ち、施工性にすぐれた継手。
PN	Pipe-in-pipe（パイプ・イン・パイプ）のPの種類別表示。 既設管に新管を挿入して管路を更新するパイプ・イン・パイプ工法用の継手。
U	Uchigawa（内側）のU。管の内側から接合を行う継手。 トンネル内や開削溝幅の狭い場所での接合に使用。
US	U形をベースにS形の機能をプラス。 内面接合用の耐震継手。
UF	U形をベースにした離脱防止継手。FはFix。 内面接合用の耐震継手。
K	Kairyo（改良）のK。角ゴムだけのメカニカル継手（A形）を改良し、角ゴムと丸ゴムを一体化して水密性を一層高めた。
T	Tyton（タイトン）のT（Tytonは米の鉄管メーカーの商品名）。 受口にゴム輪を装着し、挿し口を挿入するだけで接合できる継手。
ALW	Advanced pipes for Low Water pressure の頭文字をとってALW形とした。 低水圧用の継手。

継手の規格

規格番号

●JIS G 5526, JIS G 5527

●JWWA G 113, JWWA G 114, JWWA G 120, JWWA G 121

接合形式	名 称	呼び径
GX形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	75～1000
NS形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	75～1000
S形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	1100～2600
US形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	800～2600
UF形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	800～2600
PN形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	300～1500 (直管) 300～1100 (異形管)
PⅡ形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	300～1350 (直管) 300～1100 (異形管)
K形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	75～2600
T形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	75～2000 (直管) 75～250 (異形管)
U形	ダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄異形管	800～2600
フランジ形	ダクタイル鋳鉄異形管	75～2600

●その他 関連規格

規格番号	名 称
JIS A 5314	ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング
JIS G 5528	ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装
JSWAS G-1	下水道用ダクタイル鋳鉄管
JSWAS G-2	下水道推進工法用ダクタイル鋳鉄管
JWWA A 113	水道用ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング
JWWA G 112	水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装
JWWA G 120	水道用GX形ダクタイル鋳鉄管
JWWA G 121	水道用GX形ダクタイル鋳鉄異形管
JWWA K 135	水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法
JWWA K 139	水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料
JWWA K 156	水道施設用ゴム材料
JWWA K 157	水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法
JWWA K 158	水道用ダクタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ
JDPA G 1027	農業用水用ダクタイル鋳鉄管
JDPA G 1029	推進工法用ダクタイル鋳鉄管
JDPA G 1041	ダクタイル鋳鉄製貯水槽 (耐震用・緊急用)
JDPA G 1042-2	NS形ダクタイル鋳鉄管 (E種管)
JDPA G 1043	ダクタイル鋳鉄製水管橋
JDPA G 1047	NS形防食ゴム付き切管用挿し口リング
JDPA G 1051	PN形ダクタイル鋳鉄管 (JP方式及びCP方式)
JDPA G 1052	S50形ダクタイル鋳鉄管
JDPA G 1053	ALW形ダクタイル鋳鉄管
JDPA Z 2002	ダクタイル鋳鉄管継手用滑剤
JDPA Z 2009	ダクタイル鋳鉄管外面特殊塗装
JDPA Z 2010	ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装
JDPA Z 2011	ダクタイル鋳鉄異形管内面液状エポキシ樹脂塗装
JDPA Z 2017	ダクタイル鋳鉄管用切管端面防食材料